

放射線関連量の課題に関する検討委員会（臨時委員会）第3回委員会 議事録

日時：2024年12月2日（月）11：00～12：00

場所：オンライン

参加者：委員長 小田啓二（電子科学研究所）
副委員長 佐々木道也（電力中央研究所）
幹事 山田崇裕（近畿大学）
委員 岩井 敏（元原安進）
委員 黒澤忠弘（産業技術総合研究所）
委員 高木俊治（三菱総合研究所）
委員 吉澤道夫（放射線計測協会）
委員 廣田誠子（広島大学）
委員 高橋史明（日本原子力研究開発機構）

資料：

資料1 「放射線関連量の課題に関する検討委員会」

資料2 「防護量・実用量の変遷と国内法令への取入れに関する調査」

資料3 「線量体系に関するこれまでの検討のサーベイと今後の予定」

議事概要：

1. 小田委員長より資料1に基づき、合同大会で報告する資料の説明があった。

（佐々木）ICRU95、ICRP147の紹介はどこで行うか？

⇒これは委員会の動機であり、最初の小田委員長が冒頭に説明し、詳細については今回触れない方向で調整する（小田委員長）。

2. 吉澤委員より資料2に基づき説明があった。

⇒9pについて線量当量の取入れに関連した当時の議論について説明を追加する。

3. 佐々木副委員長より資料3に基づき説明があった。

⇒3pのJHPSの活動を強調する。

⇒3p ICRP103に関連して「定義の最新版」との記載があるが誤解を避けた方がよい。「定義の最新版」の記載の見直し、右端欄を強調するなど対処する。

⇒IECの動向に関して確認して佐々木副委員長に連絡する。（山田）

4. 時間配分について

時間配分は、25分（小田）、15分（吉澤）、10分（佐々木）、総合討論10分とする。

それぞれの発表に対する質疑も時間の許す限り 1, 2 質問を受ける。

5. その他

前回委員会において岩井氏が提示した JAEA 遠藤氏への確認事項は、整理したものをメールにて委員で共有することとなった。(高橋)

(山田) ESI-NEWS の記事の JHPS ホームページ掲載について事務局に手配をとる。

年度内に第 4 回を開催する。

以上